

おおだいがはらやま あすかめく
コース13 大台ヶ原山と飛鳥巡り



大蛇崕

リーダー CL N/S
 実施日 平成30年5月21日(月)～24日(木)
 天候 22日：快晴、23日：小雨 グレード B上
 参加者 7人(男性 3 女性 4)
 コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
21日 新津駅		18:45	JR、高速夜行バス、京阪、近鉄、奈良バス
22日 大台ヶ原P	10:51	11:04	ビジターセンターで情報収集、身支度をし出発
日出ヶ岳山頂	11:48	12:19	1,695m,大峰奥駆道の大峰山脈と熊野灘が一望
正木、牛石ヶ原	13:00	13:30	大回廊の正木嶺を通り、白骨林と笹原をかつ歩
大蛇崕だいじゃぐら	13:41	13:48	シャクナゲが咲く岩場。中道を通り下山
大台ヶ原P	14:48	15:30	吉野熊野国立公園は緑濃く急峻な山容と深い峡谷
23日 祝戸荘	19:10	10:00	明日香村の国営飛鳥歴史公園内の宿から飛鳥巡りへ
岡寺	11:04	11:40	日本最大・最古の塑像観音像を拝観
石舞台古墳	12:55	13:17	7世紀初めの築造、蘇我馬子の墓?を見学
飛鳥寺	14:10	14:35	日本最古の飛鳥大仏、十六才の聖徳太子像を拝観
高松塚古墳	15:13	16:45	壁画の実物修理作業と壁画館を見学
24日新潟駅南口	8:45		飛鳥から京都経由で24日新潟に無事帰着

山行等概要(幹事のコメント)

- ・ 降雨量が屋久島と同じく日本一。「年間400日が雨」と言われるほどの大台ヶ原は快晴、東大台のハイキングコースを歩いた。トウヒ、ミヤコザサの道を抜けると正木嶺の鞍部の展望台に着き、熊野灘と山頂の眺望が開けた。木の階段を登り着くと、たいした汗をかくこともなく日出ヶ岳の山頂に到着した。昼食を摂り正木ヶ原へと向かう。
- ・ 天空の大回廊では、立ち枯れたトウヒの白骨林を眺めながら気持ち良く歩けた。
- ・ アケボノツツジ、シャクナゲが咲く岩場を抜けると大勢のハイカーに出会い混雑する絶壁の大蛇崕に到着。身の安全を確保するため早々に下山。
- ・ 飛鳥は1,400年前に日本の政治、文化の中心地として宮が築かれた。現在は自然豊かな田園風景が広がっていた。早朝の散歩のとき、棚田で花農家の人と話ができて日本の故郷に還った心持ちにさせてくれた。飛鳥は小雨の中を23,300歩と長丁場の歩き巡りであった。



日出ヶ岳山頂 1,695m